

内尾整形外科医院『適切な意思決定支援に関する指針』

入院する患者さまは、疾患を抱えて治療・療養・生活を送るにあたり、いろいろな意思決定をする必要があります。

私達職員は、患者さま及びご家族や関係者の皆様の意思を尊重するとともに、その意思決定が出来るように適切な支援を行います。

1. 人生の最終段階における具体的な医療・ケアの方針決定支援

1-1：ご本人の意思が確認出来る場合

- ・ご本人による意思決定を基本とし、ご家族も関与しながら、厚生労働省の「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスにおけるガイドライン」を参考に、医療・ケアチームが協力し、医療・ケアの方針を決定します。決定内容はご本人・ご家族に報告し、カルテに記入します。
- ・時間の経過、心身の状態の変化、医学的評価の変更、患者さまやご家族を取り巻く環境の変化等により、意思は変化することがあります。医療・ケアチームは、ご本人が自らの意思をその都度示し、伝えることが出来るように支援します。ご本人が自らの意思を伝える事が出来なくなる可能性もありますので、その時の対応について、予めご家族等を含めた話し合いを行います。

1-2：ご本人の意思が確認出来ない場合

- ・ご家族等がご本人の意思を推定出来る場合には、その推定意思を尊重し、ご本人にとっての最善である医療・ケアの方針を医療・ケアチームとともに慎重に検討し決定します。
- ・ご家族等が本人の意思を推定出来ない場合には、ご本人にとって何が最善であるかについて、ご家族等と医療・ケアチームにより十分に話し合い決定します。
- ・ご家族がいない場合、またはご家族等が判断を医療・ケアチームに委ねる場合は、ご本人にとっての最善である医療・ケアの方針を医療・ケアチームが慎重に検討し決定します。

2. 認知症等で自らが、意思決定をすることが困難な患者さまの意思決定支援

- #### 2-1：障害者や認知症等で、自らが意思決定をすることが困難な場合は、厚生労働省の作成した「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定ガイドライン」を参考に、出来る限りご本人の意思を尊重し、反映をしながら意思決定を支援していきます。ご家族及び関係者と医療・ケアチーム等が関与してその意思決定を支援していきます。